

ふじいでらしの
「家計簿」
令和6年度決算



藤井寺市公式キャラクター
『まなりくん』

もくじ

1. 令和6年度の決算を見てみよう …… 1 ページ
 - ① 藤井寺市の収入はどれくらい？
 - ② 市民一人当たりの収入は？（近隣市との比較）
 - ③ 藤井寺市の支出はどれくらい？（目的別と性質別）
 - ④ 市民一人当たりの支出額は？（近隣市との比較）
 - ⑤ 家計簿に置き換えてみると？

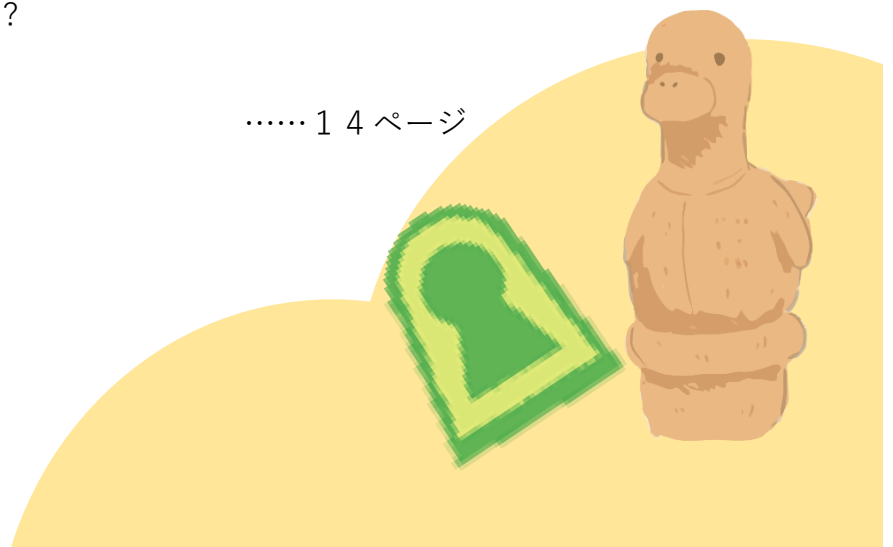
2. 藤井寺市の貯金と借金を見てみよう …… 7 ページ
 - ① 貯金はどれくらいあるの？
 - ② 借金はどれくらいあるの？

3. 二つの指標で藤井寺市の健康診断 …… 10 ページ
 - ① 自由に使えるお金の割合をチェック
 - ② 借金返済の負担が大きすぎないかチェック

4. 藤井寺市の課題と取り組み …… 12 ページ
 - ① 藤井寺市の貯金はどうなっていく？
 - ② これからどうなっていく？

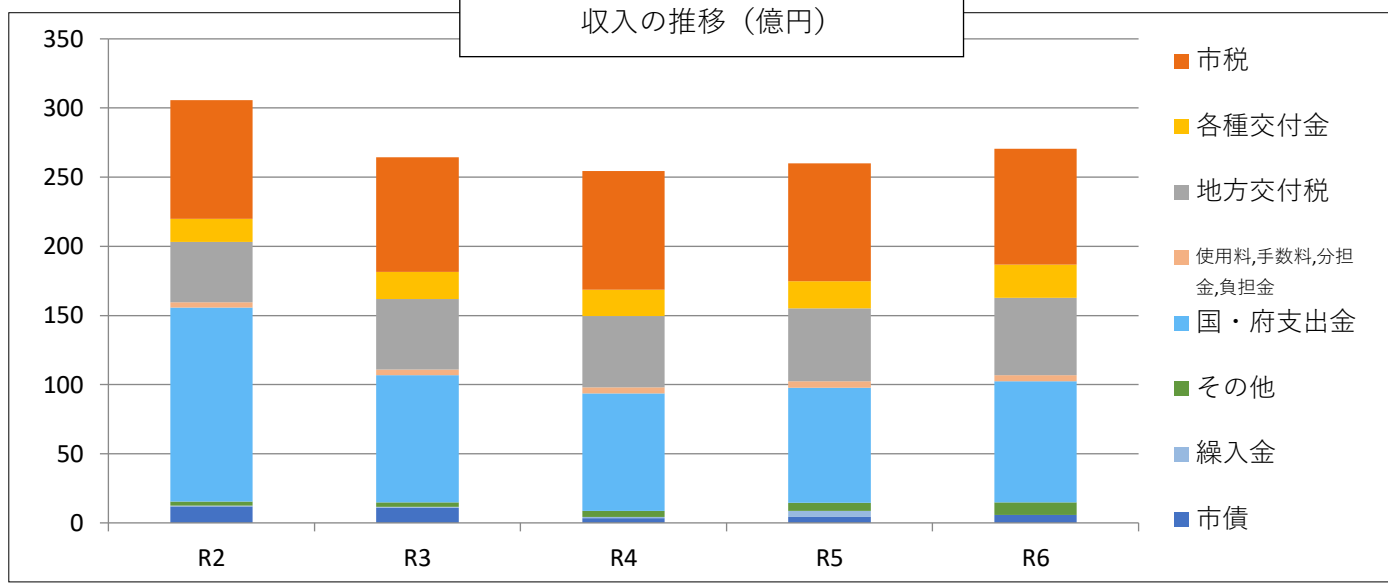
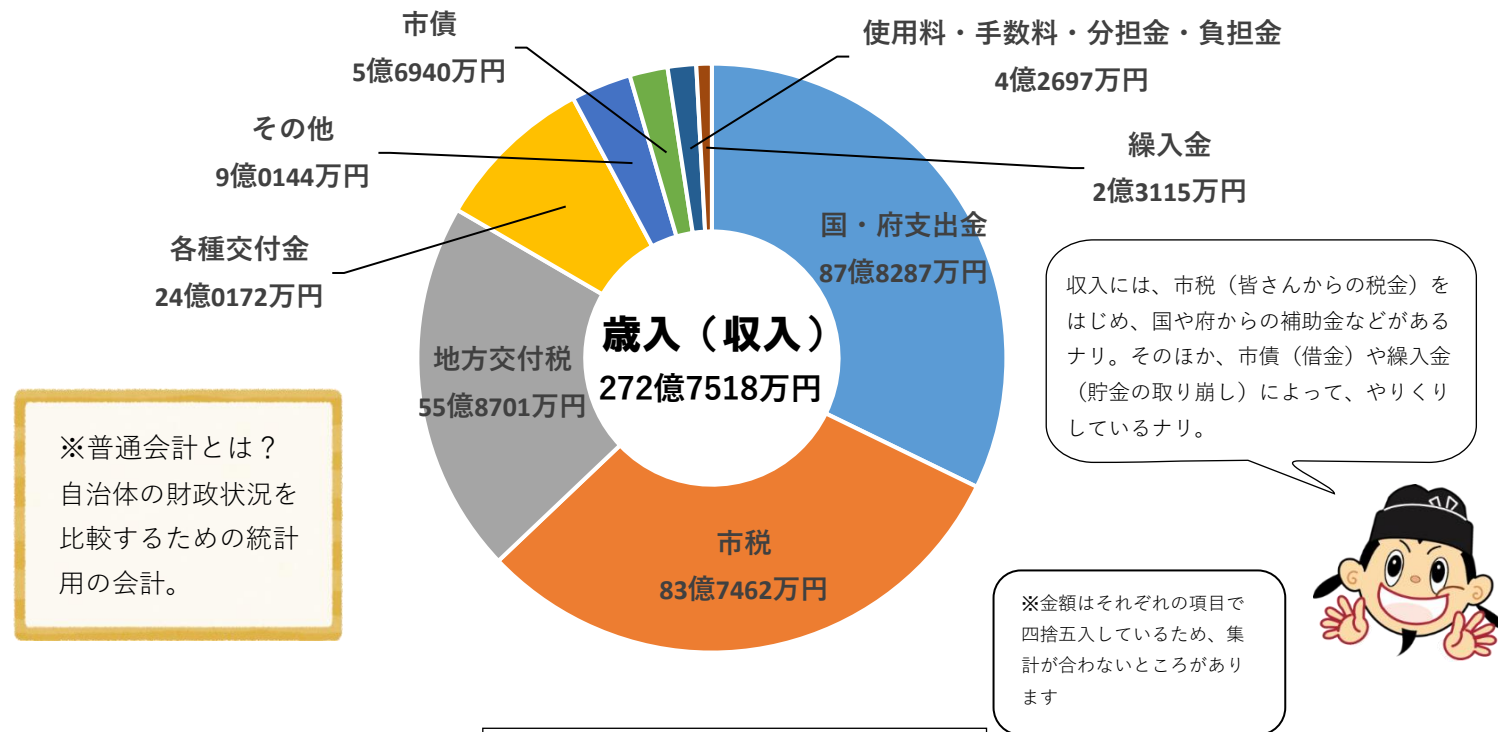
5. 藤井寺市の皆さまへ …… 14 ページ

○用語解説



1. 令和6年度の決算を見てみよう（※普通会計）

① 藤井寺市の収入はどれくらい？



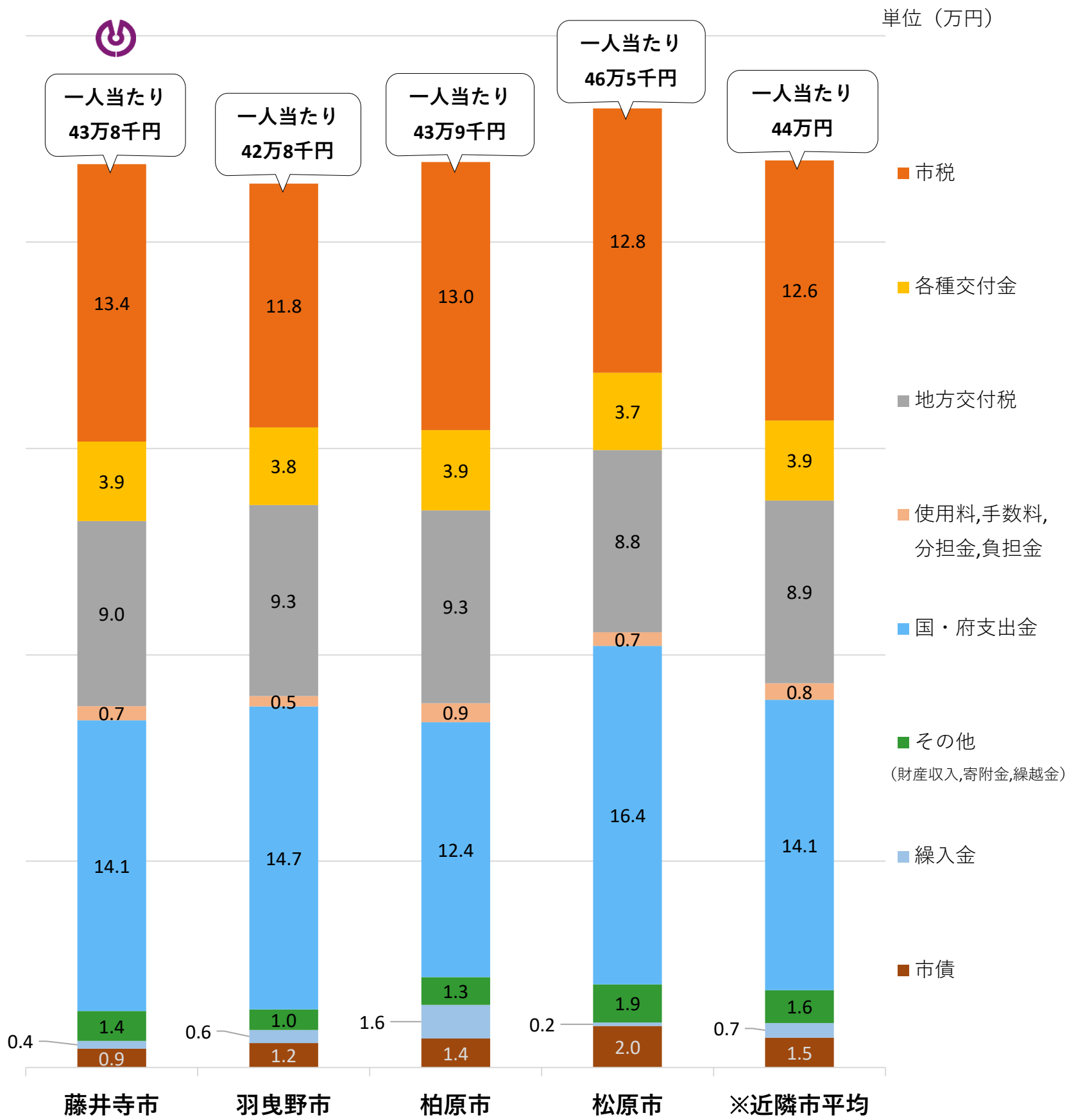
	(千円)				
	R2	R3	R4	R5	R6
市税	8,581,704	8,299,677	8,581,845	8,515,060	8,374,620
各種交付金	1,659,400	1,961,453	1,912,838	1,963,122	2,401,719
地方交付税	4,363,518	5,090,008	5,156,406	5,284,768	5,587,014
使用料,手数料,分担金,負担金	398,020	411,717	435,280	445,567	426,968
国・府支出金	14,004,779	9,202,588	8,491,083	8,330,223	8,782,871
その他	306,609	323,139	451,215	585,974	901,444
繰入金	44,169	50,418	63,974	448,369	231,149
市債	1,204,900	1,097,000	351,800	422,800	569,400
合計	30,563,099	26,436,000	25,444,441	25,995,883	27,275,185

令和6年度は、経済対策などの事業に必要な経費の追加交付により、地方交付税が前年度と比べて約3億円増加しているナリ！ また、寄附金はふるさと納税における返礼品の追加などによって前年度と比べて約9千万円増加しているナリ！ さらに、令和6年度の収入額全体で見ると総額約272億8千万円で、前年度と比べると約12億8千万円（4.9%）増加したナリ！

でも、個人市民税の定額減税の影響により、市税が前年度と比べて約1億4千万円減少しているナリ！

② 市民一人当たりの収入額は？（近隣市との比較）

市民一人当たり歳入比較（普通会計・令和6年度決算）



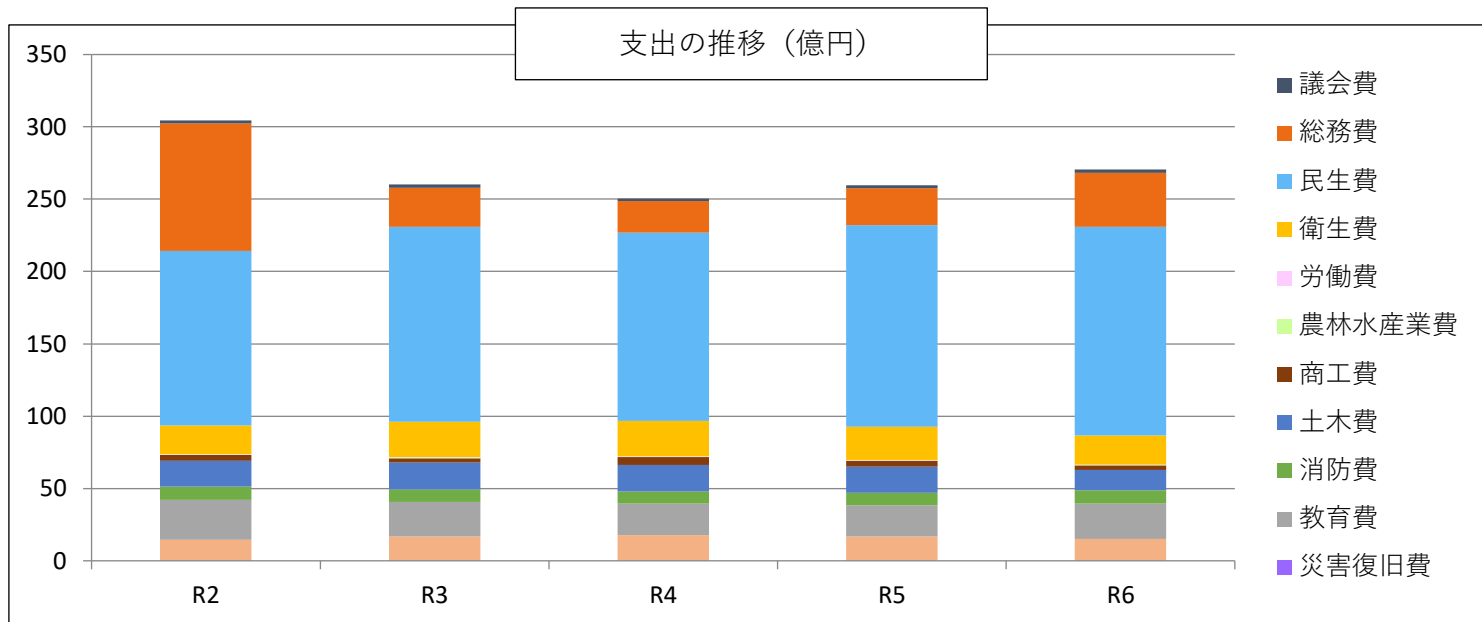
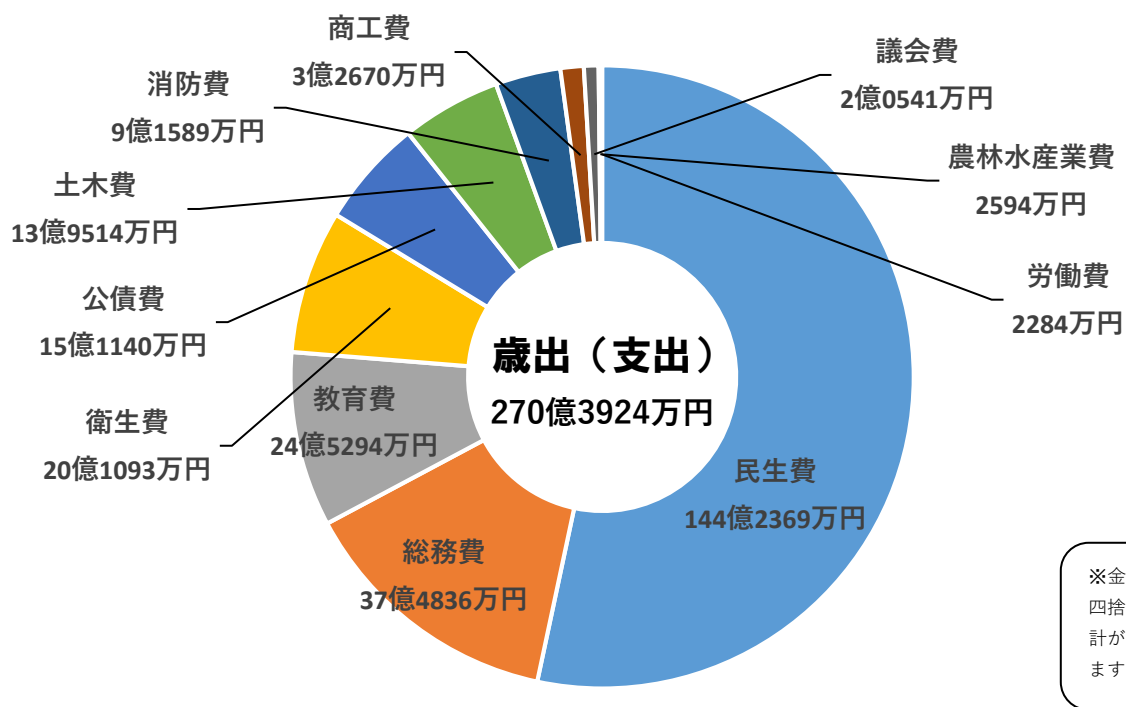
※端数処理の関係で合計と一致しない場合があります。

※近隣市平均とは、上記4市に加えて富田林市、河内長野市、大阪狭山市を含む計7市の平均値となります。

市の規模によって差が出てしまうから、市民一人当たりの金額で比べてみたよ。
藤井寺市では市民一人当たりの収入額が「43万8千円」で、近隣市平均と比べてみるとさほど変わらないみたいだね。



③ 藤井寺市の支出はどれくらい？（目的別）

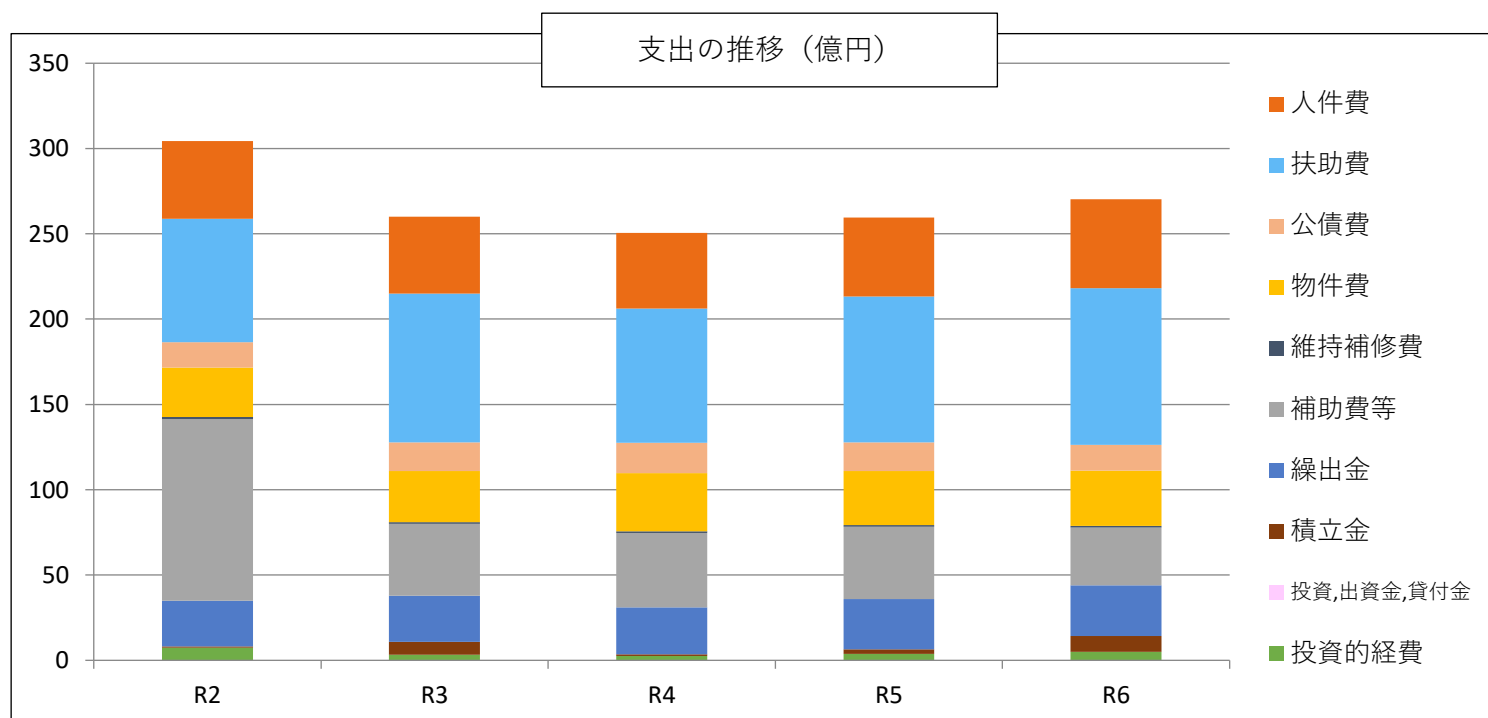
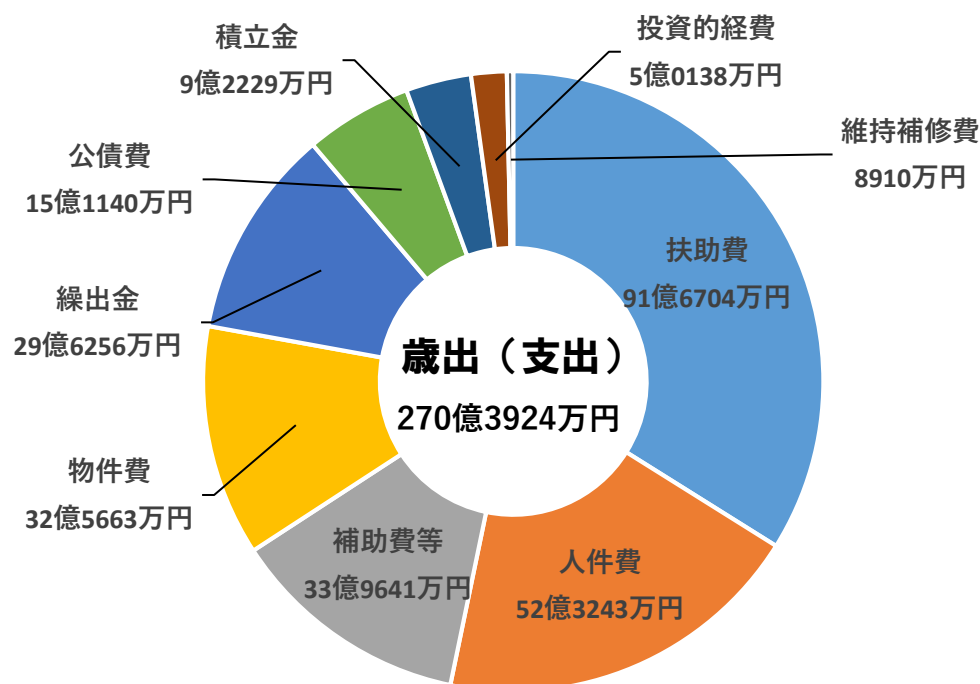


	(千円)				
	R2	R3	R4	R5	R6
議会費	198,543	206,272	192,853	198,375	205,414
総務費	8,822,365	2,704,798	2,181,929	2,558,856	3,748,358
民生費	12,065,213	13,494,653	12,994,630	13,942,131	14,423,692
衛生費	1,984,003	2,439,675	2,462,414	2,304,123	2,010,928
労働費	28,564	28,011	22,803	23,967	22,841
農林水産業費	40,254	42,721	29,847	22,640	25,941
商工費	377,553	304,830	548,005	408,118	326,695
土木費	1,781,352	1,853,575	1,816,527	1,789,022	1,395,144
消防費	924,034	848,350	849,098	865,425	915,888
教育費	2,754,807	2,397,722	2,176,699	2,158,272	2,452,943
災害復旧費	0	0	0	0	0
公債費	1,466,923	1,685,729	1,774,294	1,690,875	1,511,399
合計	30,443,611	26,006,336	25,049,099	25,961,804	27,039,243



お金をどんな目的で使ったのかという視点で見ると、民生費（子ども、高齢者や障がい者などの福祉サービス）が約144億2千万円と全体で一番多く占めているナリ！人件費を含む総務費や、障害福祉サービスを含む民生費の増加によって、令和6年度の支出額全体で見ると総額約270億4千万円で、前年度と比べると約1億8百万円（4.2%）増加したナリ！

③ 藤井寺市の支出はどれくらい？（性質別）



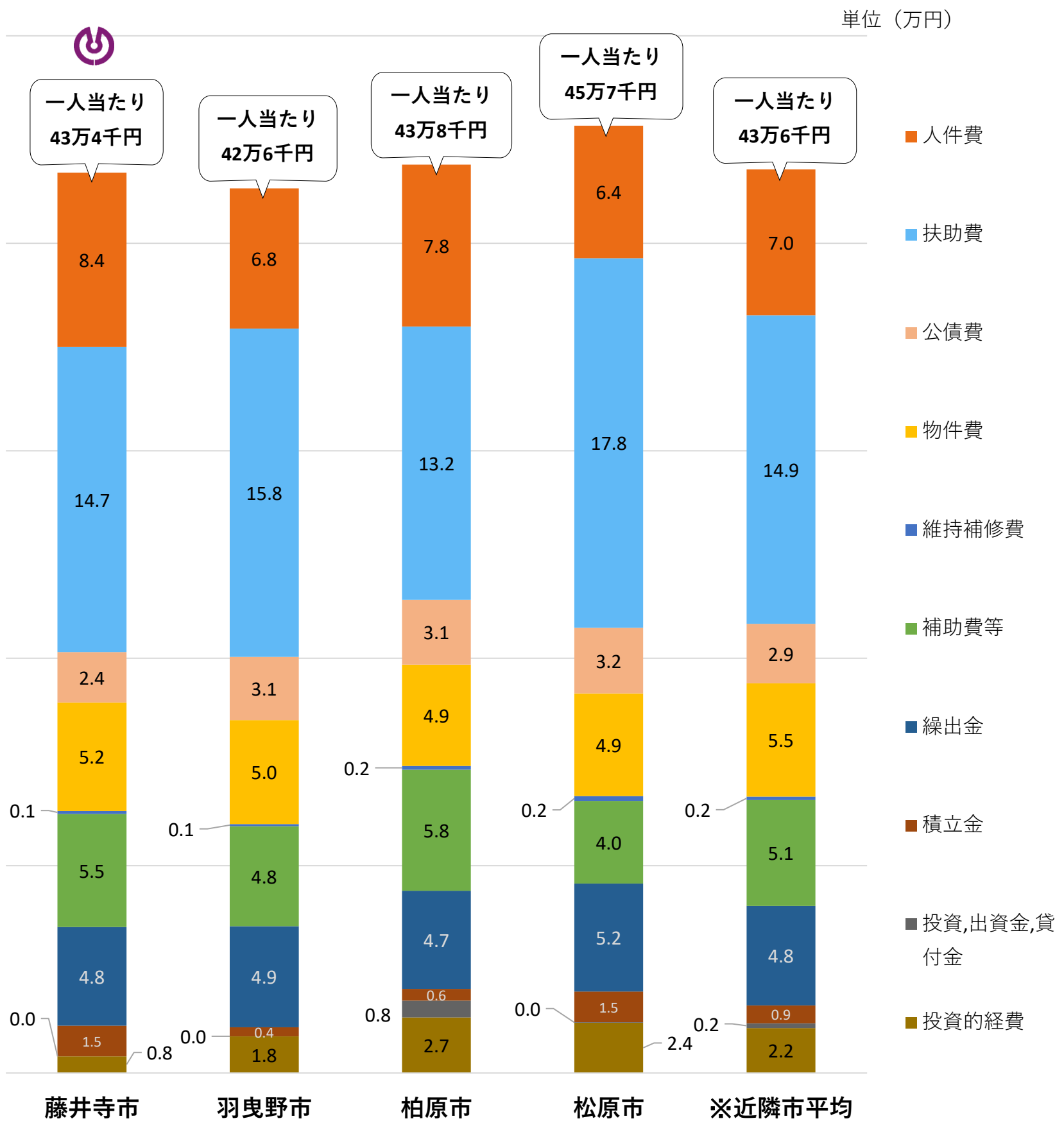
	（千円）				
	R2	R3	R4	R5	R6
人件費	4,559,488	4,500,959	4,417,010	4,629,142	5,232,429
扶助費	7,246,908	8,716,772	7,879,223	8,552,983	9,167,041
公債費	1,466,923	1,685,729	1,774,275	1,690,875	1,511,399
物件費	2,914,712	3,013,820	3,423,086	3,151,534	3,256,632
維持補修費	106,012	87,088	84,574	95,663	89,100
補助費等	10,660,172	4,203,342	4,373,416	4,256,740	3,396,411
繰出金	2,674,899	2,720,691	2,754,312	2,930,406	2,962,559
積立金	70,508	749,669	97,841	276,972	922,291
投資,出資金,貸付金	0	0	0	0	0
投資的経費	743,989	328,266	245,362	377,489	501,381
合計	30,443,611	26,006,336	25,049,099	25,961,804	27,039,243

さっきは使ったお金を目的別に分類したけど、今度は性質別に分類したナリ！ 人件費は、退職手当の増加や、会計年度任用職員への勤勉手当の支給が開始されたことなどにより、前年度と比べて約6億円増加したナリ！ 扶助費は、経常的な支出である障害福祉サービス費の増加や、定額減税補足給付金事業を実施したことにより、全体として約6億1千万円増加したナリ！ さらに、アイセルシュラホール改修事業や史跡買い上げ事業の実施により投資的経費が前年度と比べて約1億2千万円増加したナリ！ でも、補助費等は、公営企業会計への繰出金の減により前年度と比べて約8億6千万円減少したナリ！



④ 市民一人当たりの支出額は？（近隣都市との比較）

市民一人当たり歳出比較（普通会計・令和6年度決算）



※端数処理の関係で合計と一致しない場合があります。

※近隣市平均とは、上記4市に加えて富田林市、河内長野市、大阪狭山市を含む計7市の平均値となります。

市の規模によって差が出てしまうから、市民一人当たりの金額にて比べてみたよ。藤井寺市では市民一人当たりの支出額が「43万4千円」で、近隣市平均と比べてみるとさほど変わらない金額になっているよ。費目別では人件費と補助費等（各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担など）の割合が高めになっているみたいだよ。



⑤ 家計簿に置き換えてみると？



収入・支出を見てみたけど、色々な専門用語があってわかりにくいナリ！
もっとわかりやすくできないナリ？

市の収支は、家計とは異なるものですが、少しでも実感しやすいように令和6年度の収入を月収30万円に置き換えて作った家計簿を見てみましょう。

収入	(万円/月)	
	R5	R6
給料（市税・地方交付税など）	18.6	18.3
医療費や家の改修などに対する助成金（国・府支出金）	9.7	9.8
家の改修などのために金融機関から借金（市債）	0.5	0.6
長男が毎月納める食費など（諸収入）	0.6	0.9
株の配当や貯金の利子（財産収入）	0.0	0.1
貯金を取り崩し（繰入金）	0.5	0.3
合計	30.0	30.0

支出	(万円/月)	
	R5	R6
食費（人件費）	5.3	5.8
医療費や保育料（扶助費）	9.9	10.2
住宅ローンなどの借金返済（公債費）	2.0	1.7
家の改修、家具の買い替えなど（投資的経費や維持補修費）	0.5	0.7
学費・光熱水費・日用品費（物件費）	3.6	3.6
下宿している子への仕送り（繰出金）	3.4	3.3
ローン返済等に備えた貯金（積立金）	0.3	1.0
雑費（その他）	4.9	3.8
合計	30.0	30.0

貯金と借金	(万円)	
	R5	R6
ローン返済等のための貯金（基金）残高	3.5	4.2
ローン等の借金（市債）残高	18.7	16.8



令和6年度は令和5年度と比べると、食費、医療費や保育料への支出が増加しているナリ。収入では、給料が減った代わりに、助成金を活用したり、借金を増やしたりして家計を賄っているナリ。貯金の積立が昨年度よりも増やせたことで、残高を増やすことができたナリ！

2. 藤井寺市の貯金と借金を見てみよう

① 貯金はどれくらいあるの？

藤井寺市には目的に応じた様々な貯金（基金）があるナリ。
主な貯金を紹介するナリ！



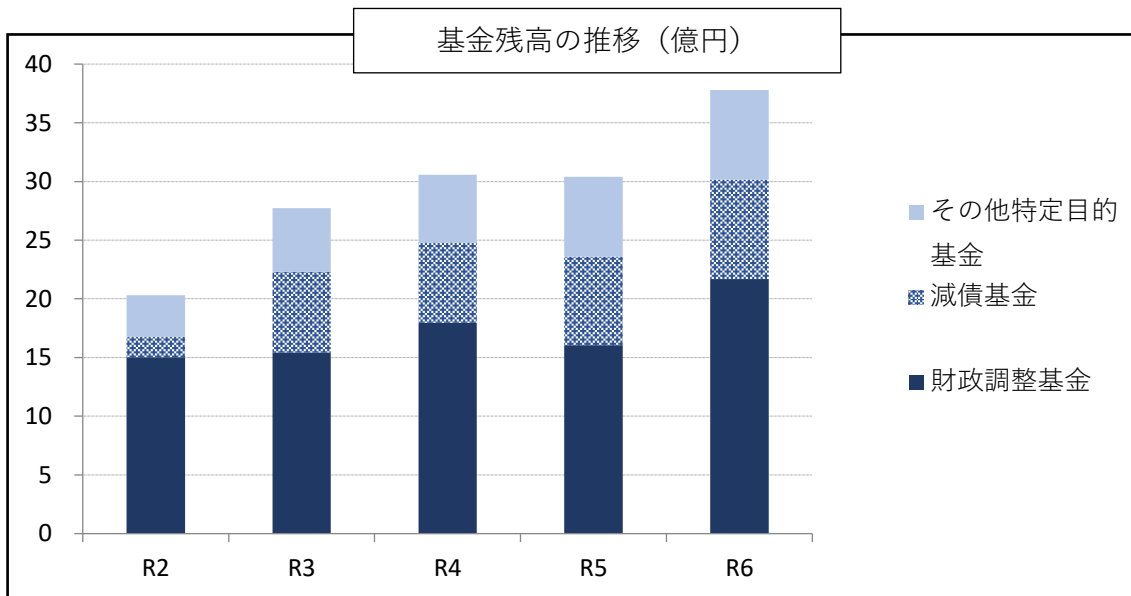
基金の名称 (設立年月)	令和6年度末残高	基金の目的
財政調整基金 昭和55年3月設置	21億6,847万円	年度間の財源の不均衡を調整し、計画的な財政運営を行うため。
減債基金 平成元年12月設置	8億4,833万円	市債の返済に備えるため。
公共施設整備基金 昭和46年3月設置	4億6,715万円	公共施設の整備を図るため。
福祉基金 平成2年9月設置	733万円	福祉事業の推進を図るため。
国際交流基金 平成元年12月設置	58万円	国際交流事業の推進を図るため。
古代史料整備基金 昭和56年9月設置	2,559万円	市立図書館における古代史料の整備を図るため。
職員退職手当基金 平成10年3月設置	14万円	職員の退職手当の支給に要する経費に充当するため。
ふるさとまちづくり 応援基金 平成26年10月設置	2億4,943万円	規定する事業の財源として、まちづくり応援寄附金を積み立て、管理、運用するため。
森林環境譲与税基金 令和元年7月設置	1,251万円	森林の整備及びその促進に関する施策のため。

その
他
特
定
目
的
基
金



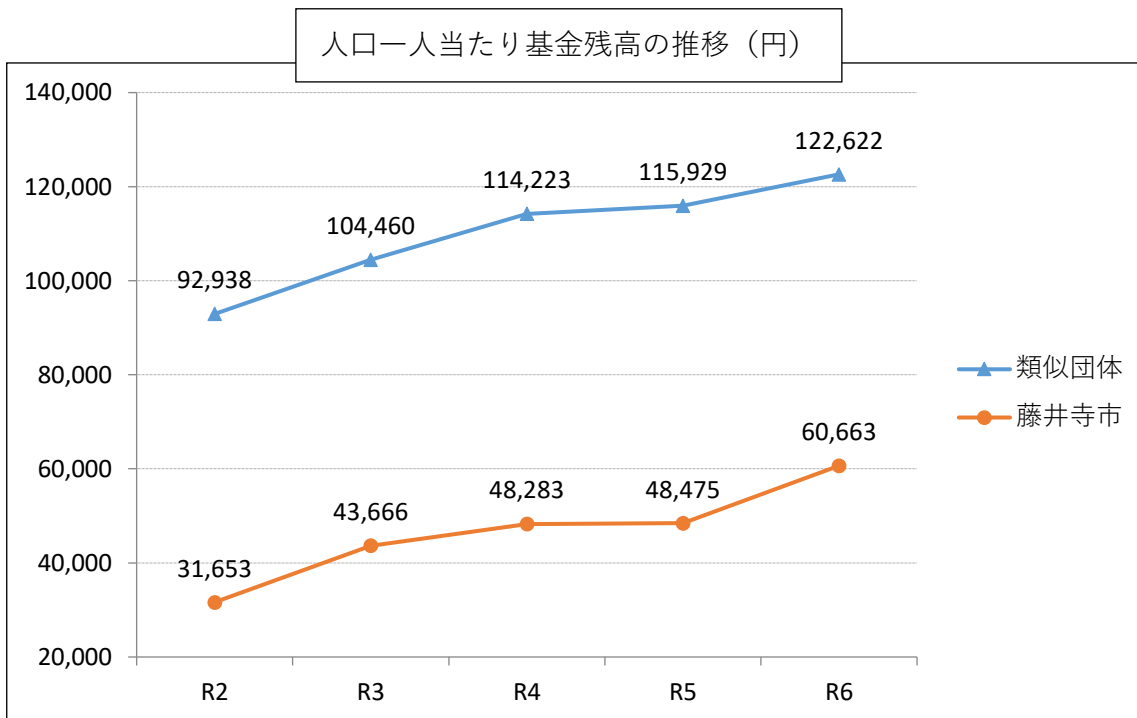
Q. どうして貯金するナリ？

A. 決算・家計簿で見てきたように、収入も支出も経済状況等により変化し、一定ではありません。つまり、安定した住民サービスや事業推進のために、災害や経済情勢の悪化などいざという時に備えて貯金しておく必要があります。



（千円）

	R2	R3	R4	R5	R6
財政調整基金	1,504,090	1,544,947	1,794,965	1,605,065	2,168,473
減債基金	171,854	684,229	684,235	755,328	848,332
その他特定目的基金	356,147	545,020	578,863	679,020	762,726
合計	2,032,091	2,774,196	3,058,063	3,039,413	3,779,531



類似団体とは、人口規模や産業構造に近い自治体のことで、藤井寺市と比較したい時によく用いられるナリ。

藤井寺市の令和6年度末の基金（貯金）残高は前年度末に比べて約7億4千万円増加しているナリ。それでも、藤井寺市は類似団体と比べるとまだまだ低い数値だから、類似団体に近づけるよう、しっかり貯金していかないといけないナリ。



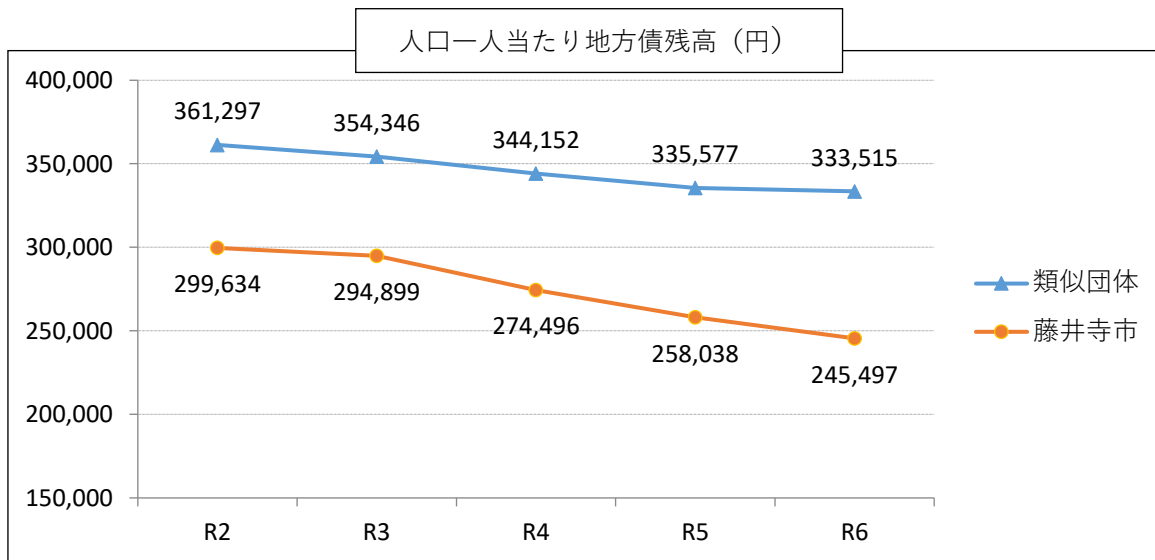
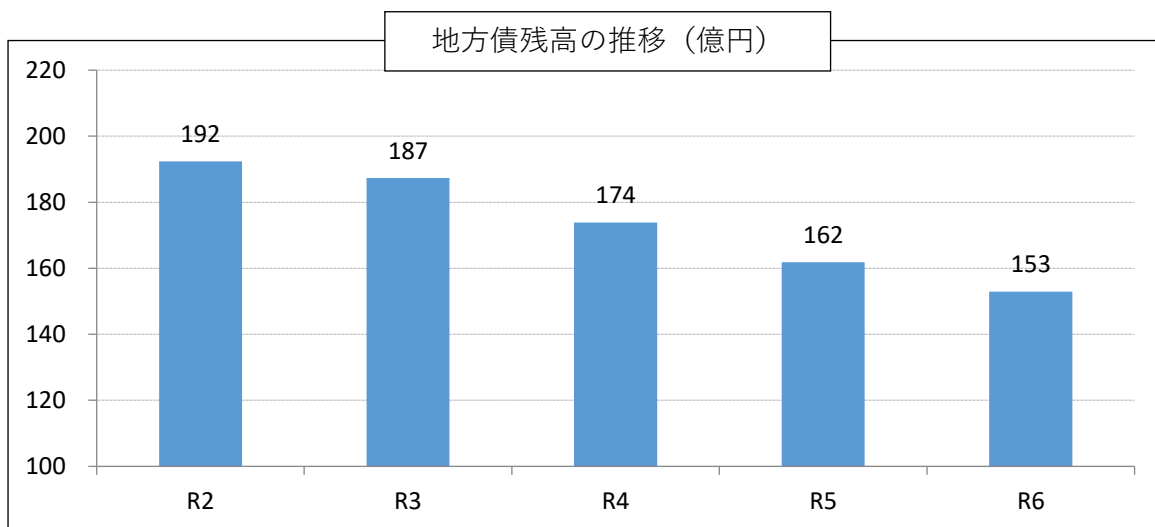
② 借金はどれくらいあるの？



Q. どうして借金するナリ？

A. 市の借金を市債（地方債）とって、公共施設の建設や道路の整備などをするためにお金を借りています。

借金の理由には資金の調達以外にも、多額の経費が単年度に集中するのを防ぎ、将来にわたって平等に費用を負担するという調整の役割もあります。



令和6年度末の地方債残高は前年度末に比べて約8億8千万円減少しているナリ。今は類似団体より低い数値だから、これからも地方債残高が増加して、将来の財政負担が大きくなり過ぎないように注意していくナリ。



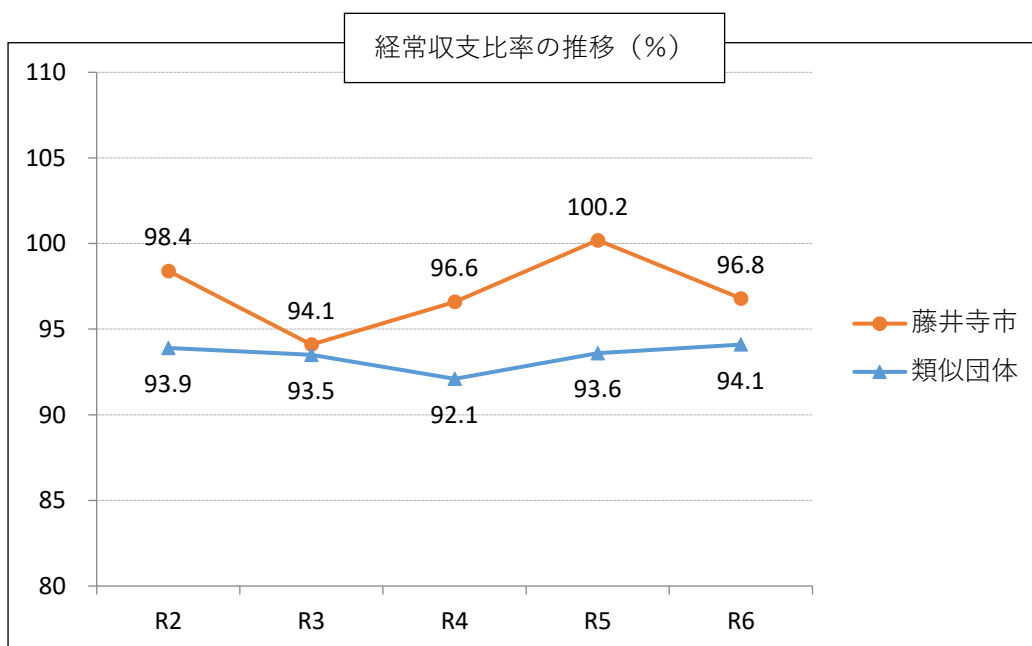
3. 二つの指標で藤井寺市の健康診断

① 自由に使えるお金の割合をチェック（経常収支比率）

経常収支比率とは、市税や地方交付税などの毎年入ってくる自由に使えるお金が、義務的経費等（人件費、扶助費、公債費など）にどのぐらいの割合で充てられているかを表しているナリ。

簡単にいうと「自由に使えるお金の割合はどれぐらいか」を示す指標ナリ。

100%を超えると自由に使えるお金がない（家計でいうと、基本的な給料だけでは最低限の生活費をまかなえていないという状態）ということになるナリよ。



令和6年度の経常収支比率は前年度と比べて3.4ポイント減って改善しているけれど、類似団体より高い割合が続いているナリ。

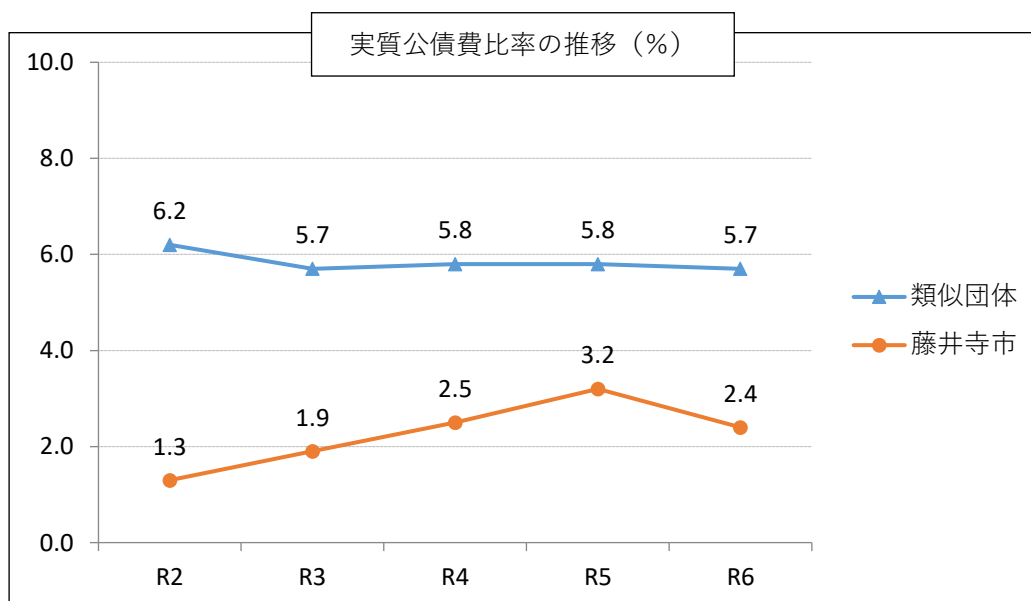
今後も経費抑制や税収増を図り、100%を下回るよう努めないといけないナリ。

② 借金返済の負担が大きすぎないかをチェック（実質公債費比率）



実質公債費比率とは、収入の規模に対して借金の返済額がどれぐらいの割合になっているかを表していて、簡単にいうと「借金の返済額の負担はどれぐらいか」を示す指標ナリ。

18%を超えると国から危険信号が出されて、自由に借金ができなくなるナリ。

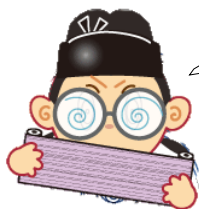


藤井寺市は類似団体と比べると低い数値を保っているナリ。これからも地方債の発行を最小限に抑えて地方債に過度に依存しない財政運営に努めないといけないナリ！

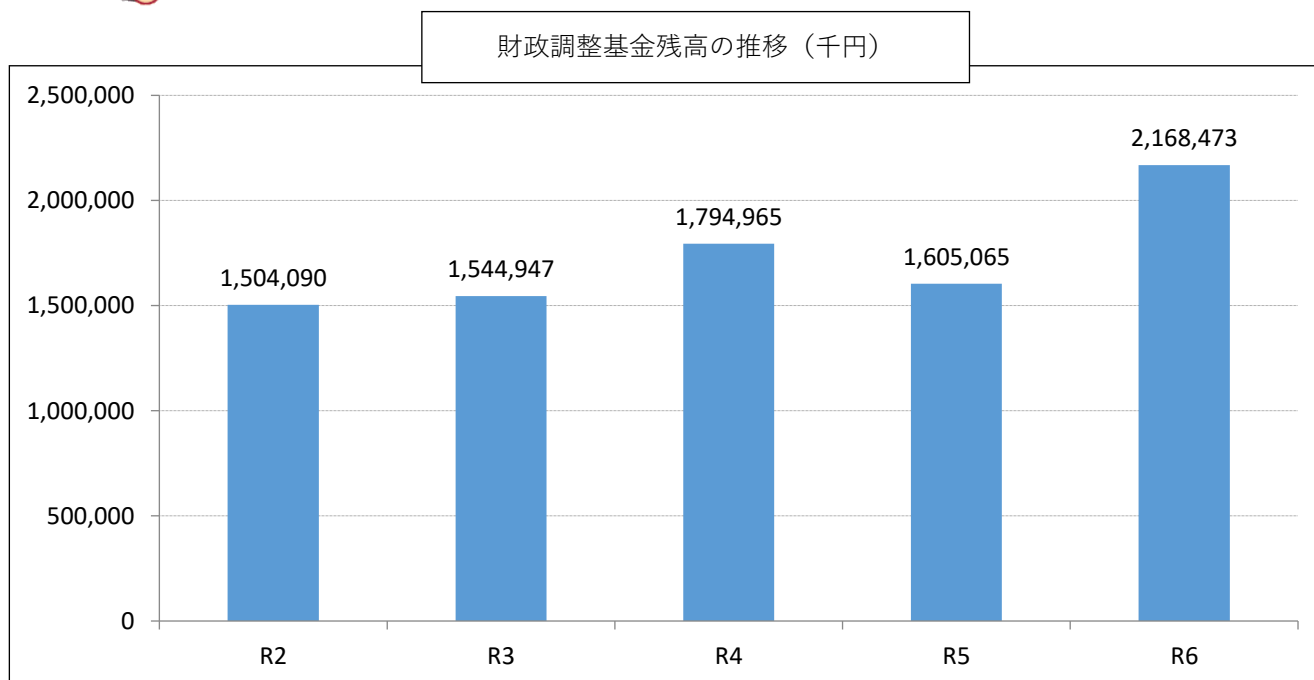


4. 藤井寺市の課題と取り組み

① 藤井寺市の貯金はどうなっていく？



貯金のところで説明した財政調整基金について詳しく見てみるナリ。



	(千円)				
年度末残高	R2	R3	R4	R5	R6
財政調整基金	1,504,090	1,544,947	1,794,965	1,605,065	2,168,473
増減額	10,749	40,857	250,018	-189,900	563,408



令和6年度は貯金残高が約5億6千万円増えたナリ。
 しかし、物価高騰で支出は増えているし、特に生活保護費や障害福祉サービス費などの扶助費は毎年増加の傾向にあるナリ。
 もし貯金がなくなって、赤字が続くようになると、最終的には行政サービスの低下や市民の負担増加に繋がってしまうナリ。学校や公園等の整備ができなくなったり……。考えたくないことばかりナリ。

② これからどうなっていく？

藤井寺市の行財政改革の取組について

H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	
行政改革大綱				行政改革大綱				行政改革大綱				行政改革大綱				行政改革大綱				行政改革大綱			
集中改革プラン ・大綱の取り組みを集中的かつ具体的に実施				行政改革推進プラン ・健全な財政運営 ・効率的で効果的な行政運営				行政改革推進プラン2016 ・健全な行政運営				行財政改革指針 ・健全な行政運営 ・時代にあった行政サービス 行政改革 アクションプラン20204				行財政改革推進プラン2024 ・持続可能な行政運営の実現							
財政健全化プログラム ・自主性・自立性の高い財政運営の確保																							

これまでの計画を整理してみたナリ。
市制施行後、初めての赤字決算となった平成18年度以降、切れ目ない行財政改革に取り組んできたナリ。目標達成に向けてみんなで取り組んでいくナリ！



行財政改革推進プラン2024の基本理念

短期・長期それぞれの視点から、歳入の拡大や絶え間ない事業の点検といった財源を生み出す改革と、将来にわたって行政サービスを安定的に提供し続けるための改革に引き続き取り組むことにより、「持続可能な行政運営の実現」を目指します。

【2つの視点】

(視点1) 財政基盤の確立（短期的な行財政改革）

さまざまな環境の変化を踏まえ、事業の最適なあり方を検討します。また未来への成長投資を行うための財源捻出を目指します。

(視点2) 時代に合った行政サービスの強化（長期的な行財政改革）

厳しい財政状況下においても、将来を見据えた投資を検討します。短期的な行財政改革とのバランスをとりながら取組を推進します。

行財政改革推進プラン2024の目標

実質収支赤字の回避

5. 藤井寺市の皆さまへ

藤井寺市の令和6年度の決算は、財政調整基金（貯金）を取り崩さずに黒字を確保できたナリ。経常収支比率も、3.4ポイント減って100%を下回ったナリ。これは、市民の皆さんのご協力と行財政改革の取組の賜物だと思うナリ。

しかし喜んでばかりはられず、公共施設の耐震化、老朽化への対応、今後発生が予想される大規模災害への対策等、課題はまだまだ山積みナリ。

もしも市の財政状況が悪化していけば、市民サービスの低下や負担の増加に繋がりがねないナリ。そうならないためにも、「行財政改革推進プラン2024」を実行して行って、持続可能な行財政運営を実現していくナリ。

市民の皆さんには、藤井寺市の財政状況に関心を持っていただき、これからも引き続き、藤井寺市でお買い物をする、リサイクルに取り組んでごみを削減する、市民税を期限内に納付するといったことにご協力をお願いしたいナリ。

藤井寺市のより良い行財政運営のため、広く皆さんからご意見をいただきながら、僕たちも取り組んでいきますので、よろしく願いいたしますナリ！



藤井寺市のホームページでは、財政状況や、行財政改革についてより詳細な資料を掲載しています。

ホームページ>市政>行財政

<https://www.city.fujiidera.lg.jp/shisei/gyouzaisei/index.html>

用語解説

用語		説明
あ	一般財源	財源の用途が特定されず、どのような経費にも使用することができるもの。
	維持補修費	自治体が管理する公共用施設等を補修するなどし、その効用を維持するための経費。
	衛生費	特定健診や予防接種などの保健に要する経費や、ゴミやし尿処理などの安全で衛生的な生活のために要する経費。
か	貸付金	地域住民の福祉増進や地域の振興を図るため、現金の貸付を行うための経費。
	議会費	議会の運営に要する経費。
	義務的経費	人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出が義務づけられている硬直性の強い経費。
	教育費	幼稚園や小中学校、公民館、体育館の運営の費用など、教育全般に要する経費。
	繰出金,繰入金	一般会計、特別会計及び基金の間で、相互に資金運用をするもの。その会計から他の会計に資金を移す場合を「繰出」、他の会計からその会計に資金が移される場合を「繰入」という。
	国・府支出金	国や府が行うべき事業を市へ委託する場合や、市が行う事業に対して一定の割合で補助する場合に交付されるお金。
	経常収支比率	人件費、扶助費、公債費等の経常的経費に、地方税や普通交付税を中心とする経常的一般財源がどの程度充当されているかを表す比率。
	決算	一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績。
	公債費	資金調達のために借り入れた市債の元利償還金など。
さ	災害復旧費	道路、橋りょう等の公共土木関係施設や、ため池、林道等の農林業施設などが、台風等により被災した際に復旧に要する経費。
	実質公債費比率	市債の返済額等の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すもの。特定財源等が措置されるものを除く実質公債費相当額の、標準財政規模に対する比率。
	商工費	商工業や観光の振興に要する経費。
	消防費	消防団の維持や災害対策に要する経費。
	人件費	職員給与のほか、議員、各種委員報酬、特別職給与共催費などを総称したもの。
	総務費	人事、企画、財政、徴税、戸籍、選挙、統計や交通安全など、市の総括的な事務事業に要する経費。
た	地方交付税	国が地方公共団体（府市町村）に交付するお金。税収入の不均衡を調整することで、一定の行政サービスを担保するためのもの。
	投資,出資金	財産を有利に運用するための国債などの取得や、公益上の必要性による株式の取得などに要する経費。このほか、財団法人設立の際の出損金や、開発公社などへの出資も該当する。
	投資的経費	公共施設等の社会資本整備など、支出の効果が長期にわたる経費。
	特別会計	市が特定の事業を行う場合に、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計を区別して個別に処理する必要がある場合に、設置することができる会計。
	土木費	道路、橋りょうや公園の整備運営、都市計画道路事業などに要する経費。
な	農林水産業費	農道やかんがい施設の整備、営農の活性化、森林・林道の機能保全などに要する経費。
は	扶助費	社会保障の一環として、高齢者、児童、障害者等に対して行っている様々な扶助（援助）に要する経費。
	普通会計	地方財政に関する統計などに用いられる会計で、一般会計に公営事業会計を除く特別会計を合算し、重複額を控除して表現する会計。
	物件費	人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の、自治体が支出する消費的性質をもつ経費。
	分担金,負担金	市が特定の事業に要する経費に充てるために、その事業によって利益を受けるものに対して徴収するお金。
	補助費等	各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など。
ま	民生費	障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、福祉医療など、福祉全般に要する経費。
ら	労働費	雇用創出のために要する経費。
	臨時財政対策債	国が地方交付税を全額準備できない場合に、足りない分を地方自治体に借金させる形で一旦補い、後から地方交付税として交付するもの。